

制作したのは秋田商工会議所など5団体でつくる「土崎湊町恋のまち推進協議会」（嶋田康子会長）。2011年1月、プロポーズにふさわしい観光スポット「恋人の聖地」として静岡市のNPO法人地域活性化支援センターから認定を受け、同年4月に設置した。

秋田市土崎港のポートタワー・セリオン北側に「結び石」と名付けられた男鹿石のモニュメントが立っている。高さ約2m。中央に「恋人の聖地」と書かれたプレートがはめ込まれ、横には穴が開いている。カップルが両側から手を差し入れ、手で手を握って永遠の愛を誓うのだという。穴の中には赤い石があり、「触れると幸せになれる」と評判だ。

土崎地区ではデートスポットとしての知名度を高める動きにちなみ、「縁結び祭り」などのイベントが毎年開かれている。祭りでは新郎新婦が土崎神明社で挙式を行い、その後に住民の祝福を受けながら地元商店街を車でパレードする。最後に結び石の前であらためて愛

土崎地区

恋人の聖地で縁結び



結び石の前で祝福を受け
る新郎新婦＝昨年10月

つけて定住したのは、この地が人の交流が盛んな港町だったから。恋人の聖地にふさわしい」と話す。

「これからもずっと一緒にいよう。結婚してください」。秋田市の社員加賀谷英佑さん(26)は昨年4月、結び石を訪れ、恋人に思いを伝えた。

相手の友香さん(29)とは10月に結婚。縁結び祭りに参加して再び結び石を訪れ、親族や地元住民らの祝福を受けた。加賀谷さんは「セリオンは2人でよく訪れた思い出の場所。いい記念になった」と振り返る。

を誓うという流れだ。回を重ねるごとに、華やかな衣装に身を包んでパレードする新郎新婦に、沿道から「おめでとう」「幸せになってね」と声を掛ける住民も増えてきた。『恋人の聖地』が定着してきたと実感する」と嶋田会長。

協議会は今後も祭りを継続し、土崎で結ばれるカップルを増やしていくつもりだ。(佐藤裕奈)

土崎地区は古くから舟運で栄えた港町。地元住が土崎でパートナーを見

嶋田会長は「県外の人